

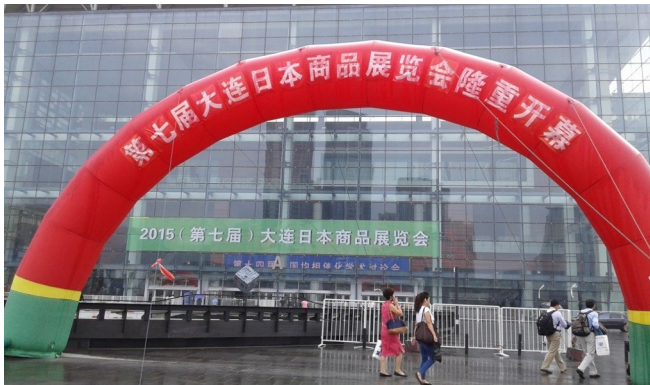


日本商品のテスト販売の場となる
「大連日本商品展覧会」と「輸入商品保税展示場」

北陸銀行
大連駐在員事務所
秘書 金春梅

1. 大連市民に人気のある「2015大連日本商品展覧会」

平成27年9月25日(金)～27日(日)、今回で7回目となる「2015大連日本商品展覧会」が大連星海会覧中心で開催されました。本展覧会は、中国国際貿易促進委員会大連市分会（以下「国貿促」）と大連市政府が共催し、日本国際貿易促進協会、金沢商工会議所、JETRO大連などの協力のもと、日本各地から約200社の日本企業が出展しました。



展覧会は「大連大連星海会覧中心」で開催

今年は、日本企業出展者数198社（182ブース）であり、日曜日が中国の「中秋節（大事な祝日）」にも関わらず、3日間の来場者数が約5万人、昨年約4倍となりました。

出展商品は、食品、洋服、老人用品、工芸品、化粧品、農林水産品、電子医療器械、建築設計、建材、観光旅行などです。その中で、日本の貼り薬や目薬などの薬品、調味料、お菓子等は大人気でした。また、環境に優しい乳酸菌消臭剤、バイオ製品、健康食品も人々の注目を集めました。

北陸銀行は2011年の大連事務所開設時から本展覧会を支援しております。そのうち「富山市物産振興会」は毎年出展、今年は5社（食品関連、薬品関連、消臭剤関連）が出展しました。



調味料、貼り薬、目薬は大人気



環境に優しい「乳酸菌消臭剤」、イオンファイター

大連の市民にとって、この展覧会は「品質のよい日本商品を、手頃な価格で買うことができる」チャンスとなっています。展覧会の最終日は、多くの出展企業が大幅に値下げをするので人々が殺到します。今年の来場者数が昨年より圧倒的に多かったのは、中国人がウィチャット（スマホ）を利用して友人たちに積極的に日本商品を宣伝したことが考えられます。



【大連国貿促からの出展案内及びパンフレット】

2. 日本商品のテスト販売の場である「輸入商品保税展示場」（2015年9月オープン）

日本商品のテスト販売展示の場として、年に1回開催する「大連日本商品展覧会」のほか、一年中展示できる「輸出入商品保税展示場」がありますので、併せてご紹介いたします。

「輸入商品保税展示場」は、大連市の保税区内に位置しており、中国免税品グループと大連友誼グループが共同出資して設立した大連市保税区内中免友誼航運服務有限公司が経営している輸入商品展示場です。

中国免税品グループは、中国政府の承認を経て、免税業務を展開している唯一の国有独占経営会社です。

大連友誼グループは、百貨店、ホテル、不動産開発を中心としている巨大な総合貿易商社です。



中免グループと友誼グループ共同出資の「輸入商品保税展示場」

< 1F「ショッピングセンター」 >

同展示場は、1階に船員購入限定の「免税店」、一般人向けの「ショッピングセンター」、2階に大連でテスト販売を目的としている「輸入商品保税展示交易センター」があります。



1Fの「ショッピングセンター」

< 2F「輸入商品保税展示交易中心」 >

中国東北地方初の「輸入商品保税展示交易中心」として、2015年9月19日に正式に開業しました。同センターは「納税商品販売、保税商品取引、免税品展示、クロスボーダー電子商取引体験」を一体としており、大連でテスト販売を目的としている日本のメーカーからの商品がほとんどで、一部欧米の商品も並んでいます。日本各地からの食品、化粧品、ベビー用品、雑貨、工芸品まで、1万種類を超える輸入商品が展示されています。



2Fの「輸入商品保税展示交易中心」

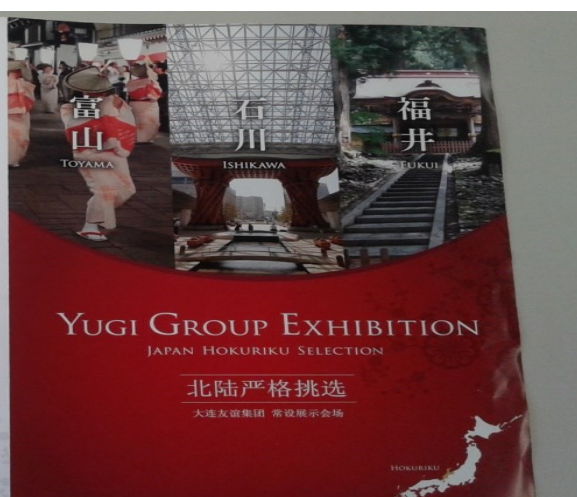
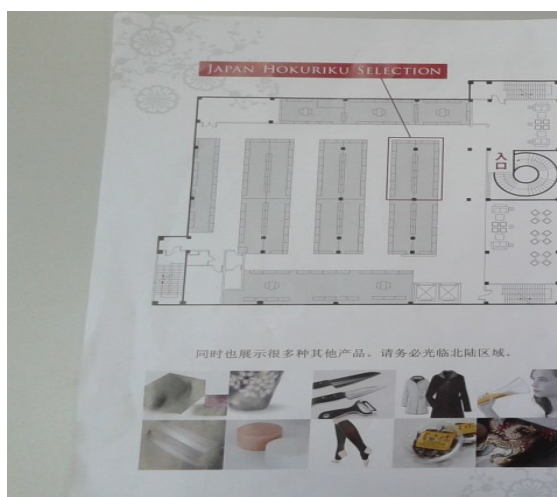
金沢のブースは入口からすぐ。1列全部に金沢の商品（工芸品、刀具、目薬、木の棚など）が展示されました。



金沢のブース



金沢の商品（工芸品）



【北陸三県ブースのパンフレット】

◆商品の販売ルートについて◆

「展示場」の日本商品は、同センターの出資者である友誼グループ傘下の各デパートでテスト販売、中国のバイヤー（小売販売業者）に推薦・販売しています。また、最近では中国政府が「大学生の自主創業支援政策」を強力に推進するに伴い、同センターも今後大学生たちを通して商品を販売する計画です。例えば、大連民族学院の大学生たちに、学校内で日本食品ニーズ調査をしてもらい人気商品を把握した上で、展示商品を販売してもらうなど、さまざまな方法で展示品を中国のバイヤーや消費者に紹介していると同センターのマネージャーは紹介してくれました。

◆保税商品取引について（手続き予定）◆

「日本からの輸入商品は、通関手続きを行わないまま保税区にしばらく保管しておいて、注文があってから通関手続きを行う。これが実現できれば日本の倉庫を大連に移したようになり、受注から発注の時間や手間が大幅に短縮できるようになります。

3. 最後に

大連市民に人気のある「日本商品展覧会」において、出展企業の商談ニーズを確認すると、「委託生産、販売提携、販売代理店を探したい」など中国企業とのマッチング希望はかなり高いようです。

「大連日本商品展覧会」であれ、「輸入商品保税展示交易センター」であれ、完璧なものとは言えませんが（改善すべきことはまだまだありますが）、スタッフたちと接する中で、その熱意にはいつも感心しています。

自社商品を大連で一度テスト販売してみたい、もしくは販売パートナーを探してみたいと思われる方には、大連にぜひ一度お越しいただくことをお勧めします。

駐在員事務所の一員として、今後もお客様のニーズに応じたサポートをしていきたいと思っております。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp